

特集

図書館間の連携・協力 ～繋ぐ・繋がる宮城県図書館

第64回北日本図書館大会

東北・北海道の図書館員が一同に集まり、
図書館サービスについて検討しました。



「本を読むって」

R a k e (レイク)

小学生の時に最後まで読み切った本は『ファーブル昆虫記』だけ。体を動かすことが好きだったので、正直なところ小中学生時代はあまり読書はせず、目が暮れるまで友達と外で遊んでいました。

高校一年の時に友人が進めてくれた二冊、伊坂幸太郎さんの『オールドボンの祈り』。最初の二行から二気に物語の世界に引き込まれ、その日は眠るのも忘れ読み続けました。

それがきっかけで読書の楽しさを覚え、伊坂さんの他の作品や角田光代さん、片山恭一さん等、いろんな方の作品を読むようになりました。シンプルな表現で文章にリズムがあり、温もりや優しさを感じられる作品が好きです。

僕自身はミュージシャンですが、スポーツ選手や著名人の自伝的な作品もすごく好きで、チャレンジする気持ちや、失敗との向き合い方などを学ぶのにすごくプラスになっています。

僕がそうだったように学生の中には、なかなか読書に興味を持たない、何を讀んだらいいかわからないといった方も多いかも知れません。でも必ず、この本面白いな。と感じる本との出会いがあります。最初の1ページを讀んでみて、これは読めそうだなと判断するのも良いかもしれません。

また、好きなスポーツ選手や著名な方の本を読むのも良いと思います。本の世界に入り込むことで、別の人生を旅したり、新たな価値観やアイデアを発見することが出来ます。読書は確実に僕らの毎日を豊かにしてくれます。

